

令和5年度 北谷高等学校国語科シラバス（授業の目標・計画書）

教科	科目名	単位数	学年	必修修・選択	対象クラス
(国語)	国語表現	2	2	選択	1～7組

1 目標

- (1) 国語を適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高め、思考力を伸ばす。
- (2) 漢字や熟語などの語彙力を高め、言語感覚を身につける。
- (3) 積極的に表現することで、自己の意見を論理的に述べる力を身につける。
- (4) 進学や社会生活に対応できる国語常識や志望理由書・小論文の書き方を身につける。

2 学習方法及び履修上の注意

- 定期考査・・・学期ごとに定期考査を実施する。出題は授業内容を主とする。
- 提出物・・・授業の進度に応じ、授業中又は自宅学習等でプリント・課題作品・ノート等を提出する。
- 授業・・・授業の出欠状況、授業中の態度、発問への主体的取り組みの意欲等により総合的に判断する。
- 小テスト・・・教材や状況に応じて、内容の理解や音読の確認のために授業内で小テストを実施する。

3 使用教科書

「国語表現《701》」（大修館書店）

4 使用副読本

「国語表現 基礎練習ノート」（大修館書店） ・ 「天声人語書き写しノート」（朝日新聞社）

5 評価の観点・評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	- 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしているか。 - 表現に対する関心を深め、国語を尊重し向上を図り、すすんで表現したりするとともに、伝え合おうとしているか。 - 課題に積極的に取り組み、また人の発言をよく聞くとともに、自分の考えを発言しようとしているか。	- 授業への出席状況 - 取り組み態度 - 発言の意欲とその内容 - ノートプリント点検 - 音読や朗読など - 自己評価と相互評価
話すこと・聞くこと	- 積極的に「話すこと・聞くこと」の学習に取り組んでいるか。 - 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて効果的に話したり的確に聞き取ったりできたか。 「スピーチ」「プレゼンテーション」といった活動に参加し、決められた役割をこなして成果をあげることができるか。	- 取り組み態度 - 定期考査 - 発言の仕方や内容 - 作業プリント（レポート） - 音読や朗読など - 自己評価と相互評価
書くこと	- 積極的に「書くこと」の学習に取り組んでいるか。 - 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができるか。 「コラム」「小論文」「レポート」「自分史」「手紙」などといった課題を完成できるか。	- 取り組み態度 - 定期考査 - ノート点検 - 作業プリント（レポート） - 自己評価と相互評価
知識及び技能	- 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしているか。 - 表現に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけることができるか。	- 定期考査 - 小テスト - ノート点検 - 自己評価と相互評価
思考力・判断力・表現力など	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他社との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるか。	- 定期考査 - 小テスト - ノート点検 - 自己評価と相互評価 - 発言の仕方や内容 - 作業プリント（レポート）

6 授業計画

	月	領域	教材	時数	学習目標（評価規準）	評価方法等
1 学 期	4	書	言葉と表記	2	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。 ・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
		書	整った文を書く	2		
		話聞	相手に応じた言葉遣い	2	・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
	5	書	わかりやすい文を書く	2	・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
		書	文のつながり方	2	・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
		書	実践トレーニング①	2	・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 ・原稿用紙の使い方を理解する。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
		書	言葉で遊ぶ	2	・さまざまな言葉遊びをとおして、言葉に興味をもち、語彙を広げて、言語感覚を豊かにする。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
	6	話聞	自己紹介ゲーム	2	・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
		話聞	言葉のストレッチ体操	1	・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
		書	絵や写真を見て書く	3	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査

		書	マイニュース記事を書こう	4	・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。	・観察 ・ワークシート (ワークノート) ・小テスト ・定期考査
2 学 期	9	書	小論文とは何か	3	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	・観察 ・ワークシート (ワークノート) ・小テスト ・定期考査
		書	反論を想定して書く	4	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	・観察 ・ワークシート (ワークノート) ・小テスト ・定期考査
	10	書	論文を書くために	3	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	・観察 ・ワークシート (ワークノート) ・小テスト ・定期考査
		書	「私の虫類図譜」を作ろう	2	・想像を膨らませ、自分が考えた「虫」の特徴を、具体的にイメージが伝わるように書く。 ・絵と文章との関係を意識しながら効果的な文章表現を工夫する。	・観察 ・作品
		書	みんなで作ろう国語辞典	3	・辞書に親しみをもち、言葉を意識し、語彙を広げ、言語感覚を豊かにする。 ・辞書の言葉の定義のしかたや構成要素を意識し、わかりやすく適切な説明を書く。	・観察 ・作品
	11	話聞	【読書】 ビブリオバトルをしよう	3	・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組む。 ・自分のお気に入りの本の魅力を聞き手を意識して話す。	・観察 ・ワークシート (ワークノート) ・小テスト ・定期考査
		話聞	【読書】 リーダーズシアターを開こう	3	・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組む。 ・聞き手を意識し、登場人物の心情や情景が思い浮かぶような表現のしかたを工夫する。	・観察 ・ワークシート (ワークノート) ・小テスト ・定期考査
		話聞	無人島で生き残れ	2	・課題を解決するために、建設的に話し合う。 ・積極的に話し合いに参加し、他者の意見を尊重しつつ自分の意見を適切に述べる。	・観察 ・ワークシート (ワークノート) ・小テスト ・定期考査
	12	書	日常生活の正しい過ごし方	5	・読者を意識して、物事の手順をわかりやすく書いて伝える。 ・接続表現や順序を表す言葉などを効果的に用いる。	・観察 ・ワークシート (ワークノート) ・作品 ・定期考査
3 学 期	1	話聞	相手や場面に応じた会話	2	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	・観察 ・ワークシート (ワークノート) ・小テスト

					・定期考査
	話聞	働く人にインタビュー	6	・聞きたいことを明確にし、質問のしかたや話し方を工夫しながらインタビューする。 ・聞き取ったことを整理し、効果的な伝え方を工夫して文章にまとめる。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・作品 ・定期考査
2	話聞	建設的な議論の進め方	2	・話し合いのステップを意識しながら話し合いに参加し、建設的な議論になるように協力し合う。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
	話聞	スピーチをしよう	2	・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
	話聞	プレゼンテーションの工夫	3	・プレゼンテーションのテーマに合わせて、資料の準備や発表の準備を行う。 ・聞き手の興味を引くような工夫をして、わかりやすく発表する。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・小テスト ・定期考査
3	話聞	演説合戦にチャレンジ	3	・説得力のある主張をするために、必要な情報を集めたり、構成や説明資料を工夫したりする。 ・聴衆を説得することができるよう、効果的に話す。	・観察 ・ワークシート（ワークノート） ・定期考査

※副教材として「天声人語書き写しノート」（朝日新聞社）を活用し、起承転結などの構成や表現方法を学びます。また、コラムを書写することで記述力と語句や慣用句の知識などの多角的な学力も養いながら記事に取り上げられているニュースや話題をもとに自分の意見を持つことの大切さと考察力も育んでいきます。